

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和2年2月14日

事業所名 児童デイサービスセンターおひさま 保護者等数(児童数)14家庭 回収数 10家庭 割合 71%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	1				利用人数、子どもの状況に合わせたグループ分けを行い、スペースを分けて活動を行っています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10					
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	5	2			室外・室内に関して整備が不十分なところがありますが、出来る部分として心のバリアフリーを考え配慮するようにしています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	10					
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9	1			普段の活動の他に色々な行事もあり子どもも楽しみにしていて有り難いと思う。	子どもたちの主体性を尊重した上で、活動プログラムの立案を行っています。また行事も大切にしていきたいと思えます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	4	4			保育園の園児や戸外遊びを通して地域の人との交流を図れるようにしています。
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	1				
8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10						
9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10						
10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	1					父母の会は設立していませんが、分離や懇談会を通して保護者同士のコミュニケーションが図れるよう心掛けています。

保護者への説明等	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	1			活動前に打ち合わせ、活動終了後に振り返りの時間を設け、共通認識のもと支援が行えるようにしていきます。よりよい支援に繋がる様、情報提供を行い、関係機関との連携を大切にしています。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10				
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	2		子どもにはパソコン等を使用させていないため、おたよりは親だけが見てしまっている。子どもと一緒にみるようにしていかなければと思っています。(でも取扱いを覚えてやめられなくならないか心配です)	子どもたちが自分たちで行事の確認や活動時間・持ち物が分かるようにお知らせを作るようにしたいと思います。
	14	個人情報に十分注意しているか	8	2			
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	5			掲示を行い、周知しています。また、緊急時の対応が出来るよう連絡表に緊急連絡先を3箇所書いて頂き、連絡ができる状況を確認しています。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	2			事業所としては隔月で避難訓練を行い、放課後等デイサービス利用児の対象の避難訓練は年1回行っています。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	8	2			子どもたちが「楽しい」と思えるような活動を心掛けています。
	18	事業所の支援に満足しているか	10				

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

令和元年度

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

結果

児童デイサービスセンターおひさま

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用人数、子どもの状況に合わせたグループ分けを行い、スペースを分けて活動を行っています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準を満たし活動を行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		室外・室内に関しては整備が不十分なところがありますが、出来る部分として心のバリアフリーを考え配慮するようにしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			行事ごとに振り返りの時間を作っています。また、2ヶ月に1回は見直しができるようにしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年4回児童発達支援と合同での懇談会と年2回の放課後等デイサービス対象の懇談会を実施しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			常に外部研修や内部研修に参加できるようにしています。専門職からの意見も取り入れながら学ぶ機会を設けています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			連絡表や個別支援計画を通して、ニーズに基づく活動ができるように計画を立てています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		今後SDQを実施予定です。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			子どもたちの主体性を尊重した上で、活動プログラムの立案を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			他事業所の取り組みや児童クラブでの取り組みを伺い、活動内容が固定化されないようにしています。子どもたちの利用が不定期の為、活動内容が同じになることもありますが、1日の活動を通して様々な活動が経験できるようにしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		基本土曜日だけの開所としている為、年間を通した活動内容を考えています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの状況に合わせて個別対応を行っていますが、個別支援計画の中にまでは記載できません。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			活動の打ち合わせ・振り返りの時間を設けています。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個人記録や全体記録をとっています。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			おたよりや年間計画、予約表等を通して、周知しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			契約時に書面を用いて説明を行っています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			必要に応じて、視覚支援を用いた対応を行っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		行事の際に、地域の方の協力を得ています。今後も日頃からの関係性を築いていきたいです。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			掲示を行い、周知しています。また、緊急時の対応が出来るよう連絡表に緊急連絡先を3ヶ所書いて頂き、緊急連絡ができる状況を確認しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			事業所としては隔月で避難訓練を行い、放課後等デイサービス利用児の対象の避難訓練は年1回行っています。
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修に参加し、研修終了後に職員に伝達を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		契約時、身体拘束についての同意説明は行っていますが、基本身体拘束は行わないスタイルをとっています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書の元、除去食の提供をしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			外傷記録簿や個人日誌に記録をとっている。朝礼等を通して職員に周知を行い、再発防止に努めています。